

2024年4月14日 主日礼拝

司会	①村上兄	②中村洋兄	③森山兄(中村り姉)
祈禱			
奏楽			
賛美	聖歌232番「罪とがをゆるされ」 (あなただけが我らの神)(来たれイエスを礼拝しよう)		
3つの愛			
聖書	②	ヨハネによる福音書20章11~18節 (P176)	
	①③	ガラテヤ人への手紙6章6~10節 (P300)	
音楽	②③	砂川由紀姉(ピアノ:田中隆美姉)	
メッセージ	②	「主の臨在を自覚する生涯」 坪井永城副牧師	
	①③	「夜と霧を超えるもの」 大川従道主任牧師(63才・V)	
賛美	「主は今生きておられる」 献金		
頌栄	「それ神は、その一人子を」(聖歌700番) アーメン		
祝禱			

「わたしは常に主をわたしの前に置く。主がわたしの右にいますゆえ、わたしは動かされることはない。」
(詩篇十六の八)

【大和ニュース】

☆主任牧師の大川従道先生、道子先生は本日、ジョイチャペルにて聖務。

今週は、ライフライン(男子牧師会)と白い家教会でご奉仕。乞祈禱！

* 本日、SS 主任会(12:45・森地下)、青年会、学生会、中高生会(ヤングチャペル)、第4礼拝(18:00)清水良高補教師「そのままで十分です！」。

* 今週も祈禱会を大切に！水曜と木曜、説教は小林詩音副牧師。(京都キリシタン史)

* 先週日曜日からシャローム館オープン！無料のコーヒー・紅茶があります。

(各礼拝の間と第3礼拝後から13:00まで。礼拝中はクローズ。)

・土曜は生花、会堂掃除(12:00)、聖歌隊の練習(泉チャペル会堂・13:30)。

* 主日礼拝人数 ①80人(226) ②190人(178) ③256人(274) ④13人=1217人

定例祈禱会 水曜53人(146) 木曜126人(105)=430人 ※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

ある大学でこんな授業があったという。

「クイズの時間だ」教授はそう言って、大きな壺を取り出して教壇に置いた。その壺に、彼は一つ一つ岩を詰めた。壺がいっぱいになるまで岩を詰めて、彼は学生に聞いた。

「この壺は満杯か？」教室中の学生が「はい」と答えた。

「本当に？」そう言いながら教授は、教壇の下からバケツいっぱい砂利を取り出した。

そして砂利を壺の中に流し込み、壺を振りながら、岩と岩の間を砂利で埋めていく。

そしてもう一度聞いた。「この壺は満杯か？」

学生は答えられない。一人の生徒が「たぶん違うだろう」と答えた。

教授は「そうだ」と笑い、教壇の下から砂の入ったバケツを取り出した。それを岩と砂利の隙間に流し込んだ後、三度目の質問を投げかけた。

「この壺は満杯になったか？」学生は声を揃えて、「いや」と答えた。

教授は水差しを取り出し、壺の縁までなみなみと水を注いだ。彼は学生に最後の質問を投げかける。「僕が何を言いたいのかわかるだろうか？」

教授が言わんとしている事は、無理すれば詰め込めると言う意味ではなく、先に砂や水を壺にいれると大切な岩は後から入れられない。大切な岩は最初に入れるべき事を教えたいがためになされた「クイズの時間」だったそうです。

いくつかある「大切な岩」とはなんでしょうか。まず第1の岩はイエス様でしょう。ダビデが歌う「主は我が岩」なる御方、そして土の器(壺?)である私たちの内側に入りたもう宝なる御方です。

私、久保田は小学校6年生の時にイエス様を信じて洗礼を受けました。中高生のヤングチャペルでは教会の楽しさを知り、賛美の楽しさを覚えました。学生会では主に仕える喜びを知り、祈りの友を得ました。青年会では社会の厳しさにもまれながらも信仰を守っている同年代と励まし合う事が出来ました。これが久保田という壺に入っているイエス様とそれに連なる大切な岩です。

4月から若者達の集まりであるJ. PLUSの活動が変わりました。中高生のヤングチャペル(担当:佐々木師)、学生会(担当:小林師)、青年会(担当:坪井師)。それぞれの年代に分かれての活動になります。各世代でしか手に入らない「大切な岩」を入れることが出来るように覚えてお祈りくださると感謝です。

文責:久保田副牧師

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ルカ14章~17章 Bコース:サムエル記上15章~31章